

## アメリカ Tohopekaliga high school 意元理咲子

留学期間：R7.8～R8.6（1年間）

留学生活が始まってから約4ヶ月が経ち、こちらでの生活にも慣れてきました。私はアメリカ、フロリダ州のオーランドで毎日最高の留学生活を送っています。私が住んでいる地域は移民が多く、私の通っている学校の生徒の人種の割合もヒスパニックが6割とかなり多めです。そんな他の州とはまたひと味違うフロリダで4ヶ月の留学生活を通して経験したこと、感じたこと、学んだことはここには書ききれないほどたくさんあります。出発直前は不安が一気に込み上げ、行きの飛行機の中では吐き散らかしていましたが、いざ到着してみればなんと boom 待っていたのは不安なんて全部吹き飛んでしまうくらいに最高なホストファミリーと友達と新しい生活でした。

登校初日、私は「友達できるかな」「授業にはちゃんとついていけるかな」など沢山の心配や不安があり、とても緊張していました。どうやって友達を作ろうなど、ファミリーにもたくさん相談していました。1限目が始まるのも朝7時からとすごく早いので、6時半ごろに緊張による吐き気と共に家を出発しました。しかし、いざ行ってみると自分が思っている以上に簡単に友達を作ることができました。緊張しながら廊下を歩いていたら、全く知らない女の子に「you're so pretty ! omg what's your name?」や「girl I love your makeup」などとたくさん声をかけられました。日本では、あまり知らない人に声をかけ褒めるということはないので、アメリカならではの文化なのではないかなと思いました。私もここにきてからはよく周りの人を褒めるようになりました。それが友達になるきっかけになったりもします。

私の学校は6割がヒスパニックと言いましたが、彼ら全員が完璧な英語を話すわけではありません。中には全く英語がわからないという生徒もいます。そのような背景もあるので、英語を話す時のプレッシャーのようなものあまり感じず、スラスラと会話ができました。また、3000人生徒がいるすごく大きな学校なので、ハンデを背負っている生徒やゲイの生徒、日本でいう不良の生徒などもたくさんいます。日本の学校では全く見ない光景もたくさんあります。生徒もみんな大人っぽく見えますし、タトゥーが入っている生徒もたくさん見かけます。最初は私も怖いな、と思っていましたが、いざ話しかけてみたらみんなすごく優しくて nice な bro たちです。ここで私が学んだのは日本では見慣れない光景で最初は緊張し、驚くことも自分から踏み込んでみたり、話しかけてみたりすることがすごく大切だということです。ステレオタイプというのはそれが壊れるのを実際に目にするまでなかなか消えません。それを消すため、まずは自分から最初の一歩を踏み出すことが何よりも重要なステップだと私は思いました。

授業の科目も日本にはない授業がたくさんあります。例えば、私が取っている法医学の授業です。この授業は法医学者や警察などの職業に繋がります。全員が大学に行くとは限らないので、高校で一定の職業に直結する授業があるというのは日本にはないスタイルでとてもいいなと思いました。生徒も自分からよく発言します。当てられて答えるというより、自分から手を挙げて質問するスタンスで積極的で雰囲気もとても良いです。私自身も楽しく授業を受けることが出来ています。また、授業も全学年混合なので様々な学年の友達ができます。日本でいう先輩後輩のような堅苦しい関係は一切なく、年齢関係なく全員フラットな関係性で接することが普通です。これも海外ならではのバイブルだなと実感しました。

ホストファミリーとの生活もとても充実しており、日々日本での生活との違いを実感します。例えば食生活です。料理は基本ホストファザーノムが作るのですが、やはりアメリカ、ヘルシーとは程遠いものをたくさん食べます。でも不健康なものほど美味しく、私もここにきてから確実に太りました。しかし微塵も気にしていません。アメリカに来て、良い意味で周りの目を気にしなくなりました。太っていても痩せていても私は私です。自分自身の事はもちろんですが、周りの人に対しても外見より内面に目を向けることが大事だという事を実感しています。

食事の話に戻りますが、これを書いている今、私含めファミリー全員風邪を引いています。そんな中、夕食の話をホストマザーのステファニーとしていると、「シンプルなものが食べたいわよね」と言われたので、スープか何かかなと思っていたら、トムが Canes という有名なチキンフライのチェーン店でドライブスルーして大量のチキンフライとポテトとダイエットコーラを買ってきました。日本では風邪を引いた時、お粥やうどんなど胃に優しいものを食べますよね。今日私が夜ご飯に食べたのは大量の油です。Canes 大好きなので、全然大丈夫なんですけどね。ただ、体調が回復する予感はしません。

他にも日本と大きく違うなと思ったのは旅行です。私はこの約 4 ヶ月間で 3 回旅行に連れて行ってもらいましたが、移動は全て車です。日本のように公共交通機関が充実していないので、飛行機以外の移動手段はほぼ車になります。1 回目は St. Augustin です。フロリダ州の北の方の地域なので車で 2 時間ほどでしたが、2 回目の旅行は到着まで 10 時間以上かかるテネシー州でした。初の長時間ドライブですごくワクワクしていましたが、いざ経験してみると OMG 想像以上に疲れ、酔いました。そして 12 月下旬に行ったノースカロライナは、車で 8 時間ドライブでした。しかも今回は 2 匹の飼い犬、ピクシーとインディーを連れて行ったので、なかなかハードでした。ノースカロライナへはホストシスターのタリーの引っ越しを手伝いに 1 週間ほどいきました。優しくて頼り甲斐があり、なんでも相談していたタリーが引っ越ししてしまうのはとても寂しかったですが、ノースカロライナでも楽しい思い出がたくさん作れて最高の冬休みでした。長時間ドライブはもう懲り懲りですが、ドライブ中はファミリーとたくさん会話をしさらに距離も縮まったので、アメリカで言う「家族団欒」の時間の作り方なのかなとも思います。

他にもまだまだここには書ききれないことがたくさんあります。アメリカに来てから想像以上に大切なことを学び、新しい経験をしました。そのどれもが私のことをサポートしてくれた家族、学校の先生方、そしてふるさと納税で支援してくださる皆様のおかげです。その全てに感謝し、いつか恩返しできるよう big な存在になるために残りの約 6 ヶ月の留学生活を大いにエンジョイしつつ、もっと色々なことを学んでいきたいです。



